

鶴ヶ島駅周辺地区 まちづくり構想

市民アンケート・団体ヒアリング
〈結果概要〉

令和4年11月

市民アンケート結果

1.調査目的

鶴ヶ島駅周辺地区まちづくり構想の策定にあたり、地域住民の皆さまの意向を計画に反映するため、鶴ヶ島駅周辺地区のまちづくりに関するアンケート調査を実施しました。

2.調査概要

①調査対象

- ・ 鶴ヶ島駅周辺地区在住の満16歳以上の方から2,000人を無作為抽出

②調査方法

- ・ 郵送又はインターネットによる回答

③調査期間

- ・ 令和4年8月8日～8月31日

④回収数、回収率

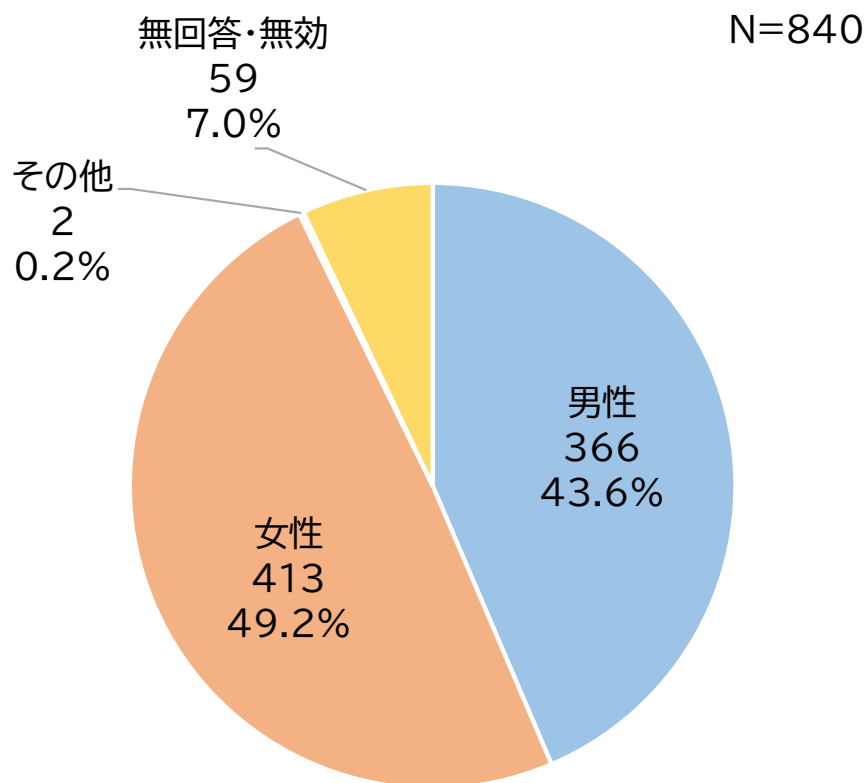
- ・ 回収数840票(郵送回収:665票、インターネット回収:175票)
- ・ 回収率42.0%

市民アンケート結果

3.回答者のプロフィール

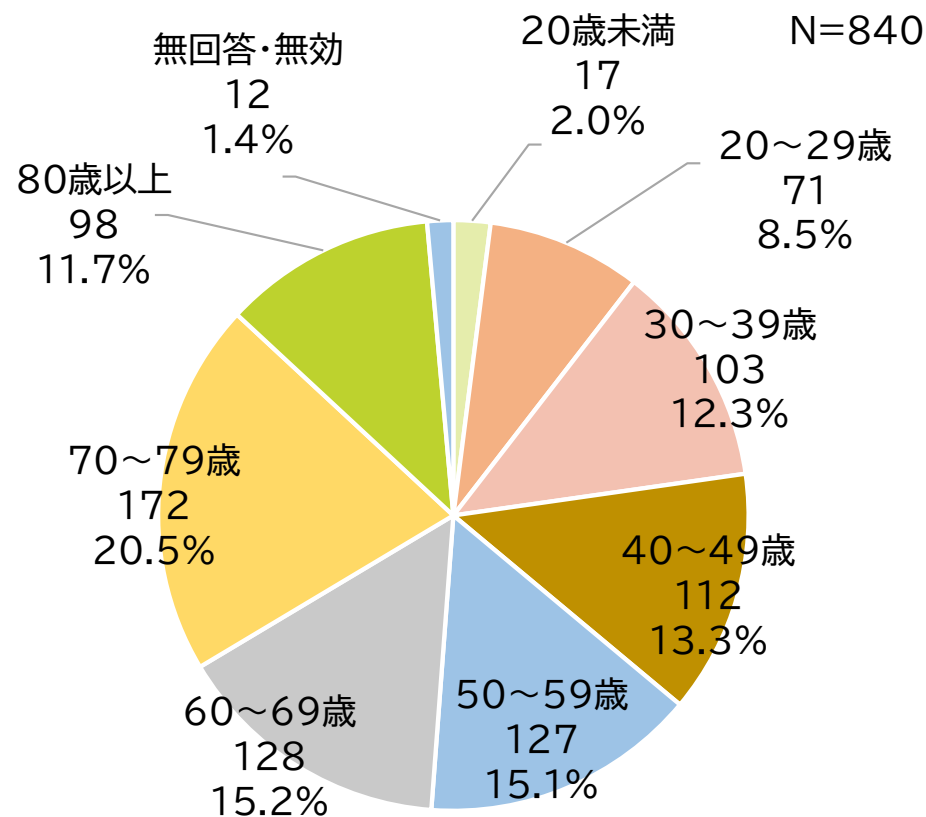
性別

「男性」が43.6%、「女性」が49.2%となっている。



年齢（令和4年7月1日現在）

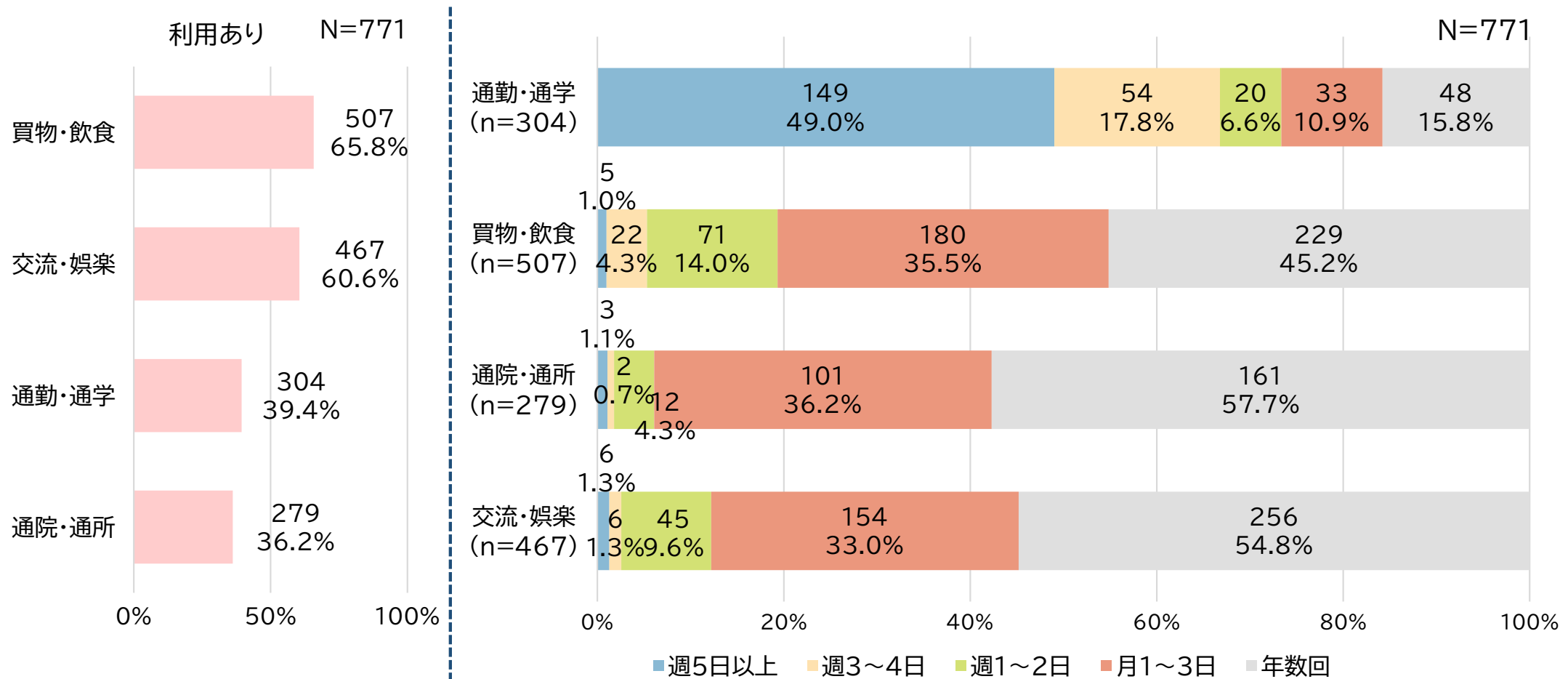
「70～79歳」が20.5%と最も多く、次いで「60～69歳」が15.2%、「50～59歳」が15.1%となっている。



市民アンケート結果

4. 鶴ヶ島駅の目的別利用頻度

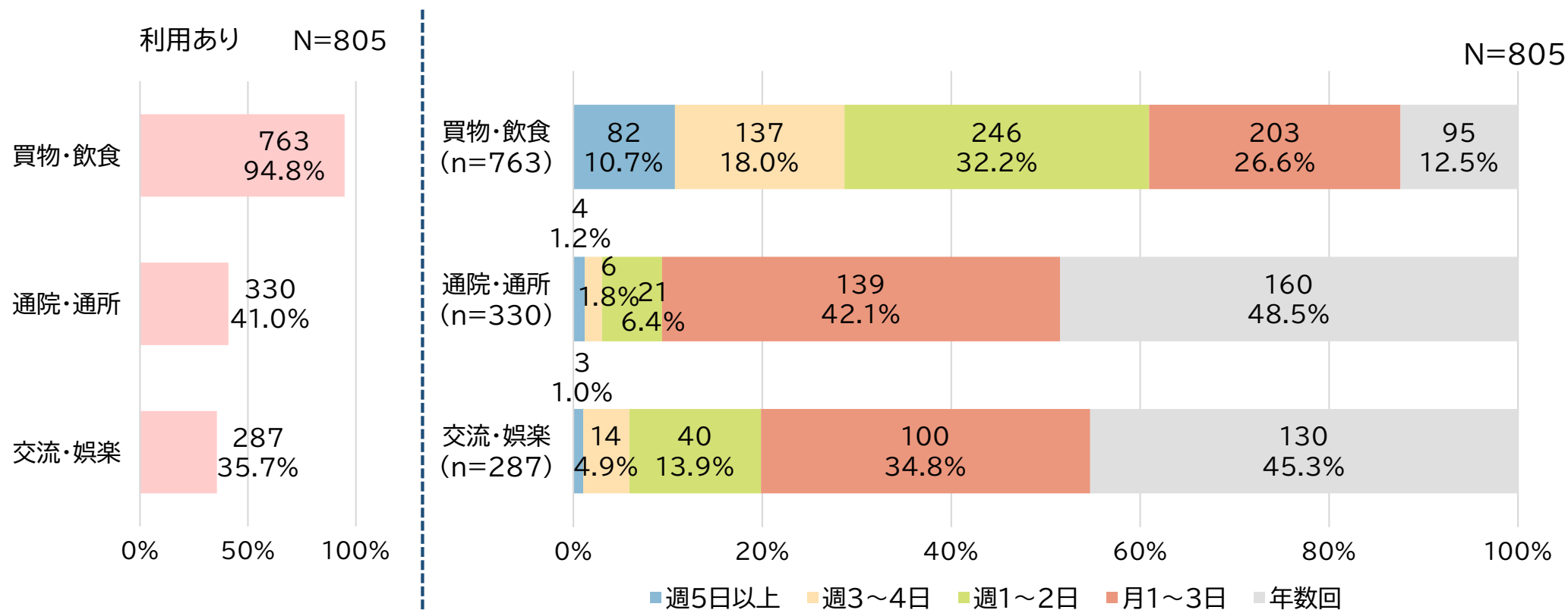
駅利用の目的は「買物・飲食」、「交流・娯楽」が多くなっており、それぞれの目的で最も利用頻度が高いのは、「通勤・通学」で「週5日以上」が49.0%、「買物・飲食」、「通院・通所」、「交流・娯楽」は「年数回」となっている。



市民アンケート結果

5. 鶴ヶ島駅周辺地区の目的別利用頻度

駅周辺地区の利用目的は「買物・飲食」が94.8%と最も多くなっており、それぞれの目的で最も利用頻度が高いのは、「買物・飲食」で「週1～2日」が32.2%、「通院・通所」、「交流・娯楽」で「年数回」となっている。



市民アンケート結果

6. 鶴ヶ島駅周辺地区の現状に対する評価

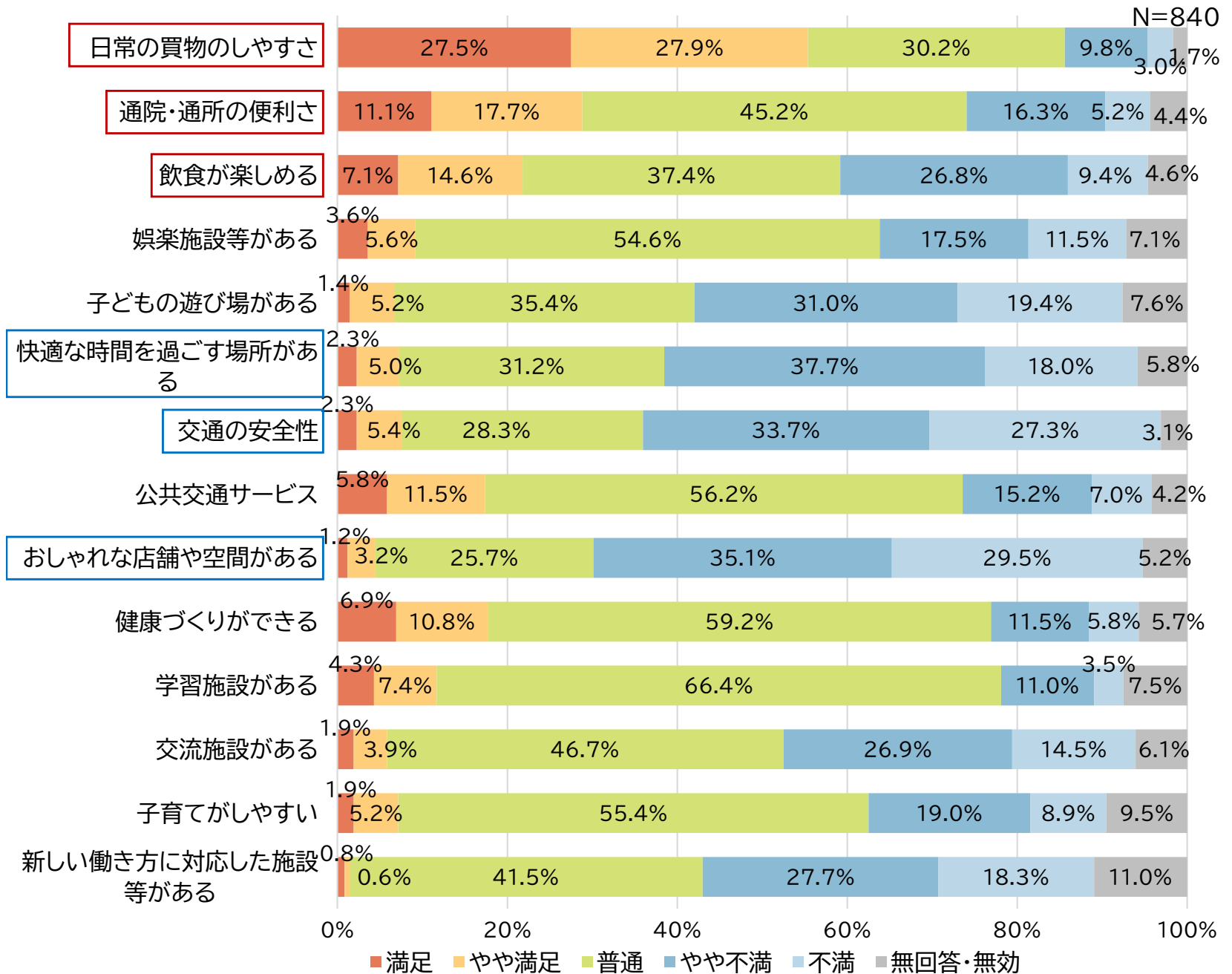
現在の満足度

「満足」、「やや満足」の合計が高いものは

〇 のとおりである。

「やや不満」、「不満」の合計が高いものは

□ のとおりである。



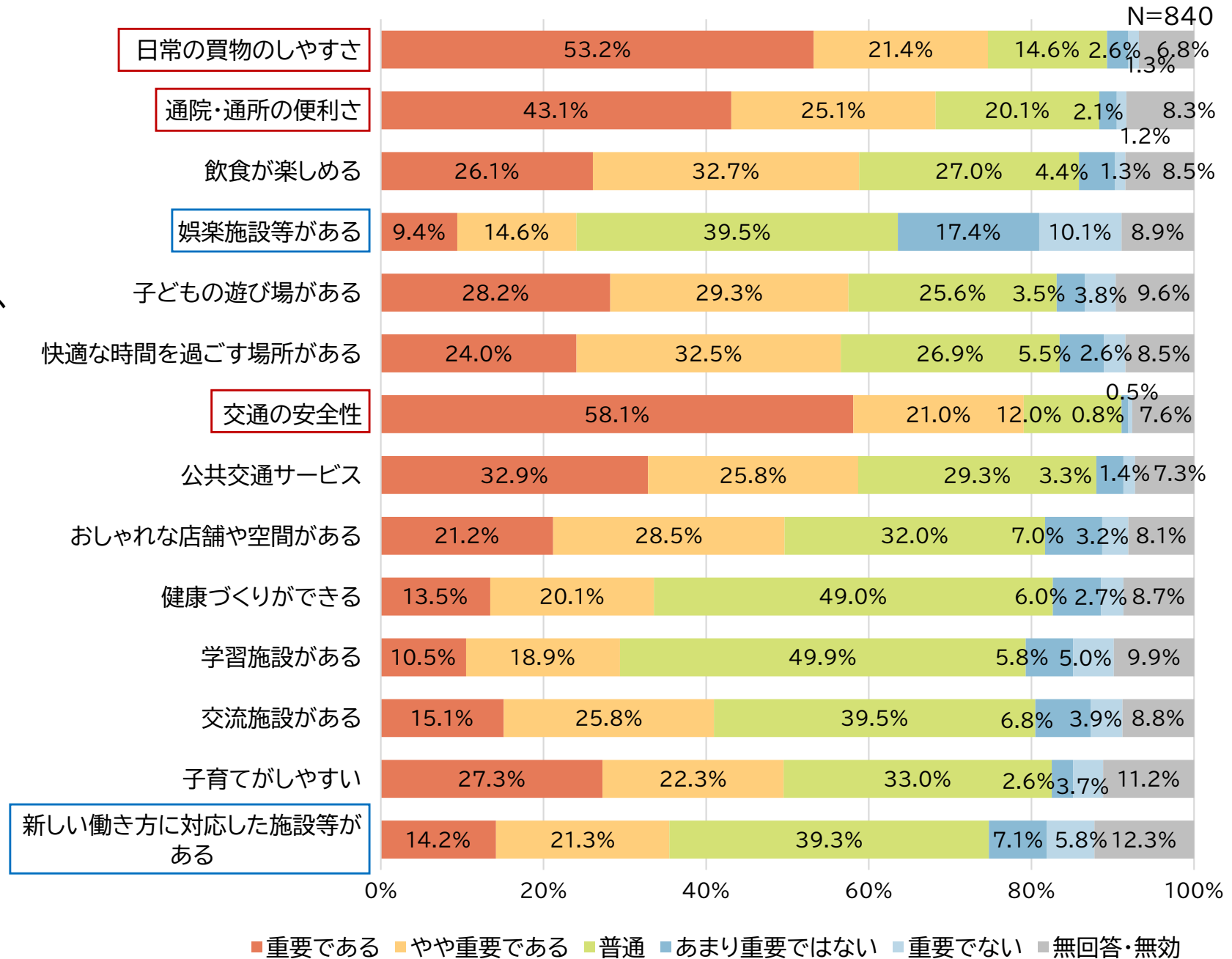
市民アンケート結果

6. 鶴ヶ島駅周辺地区の現状に対する評価

今後の重要度

「重要である」、「やや重要である」の合計が高いものは □ のとおりである。

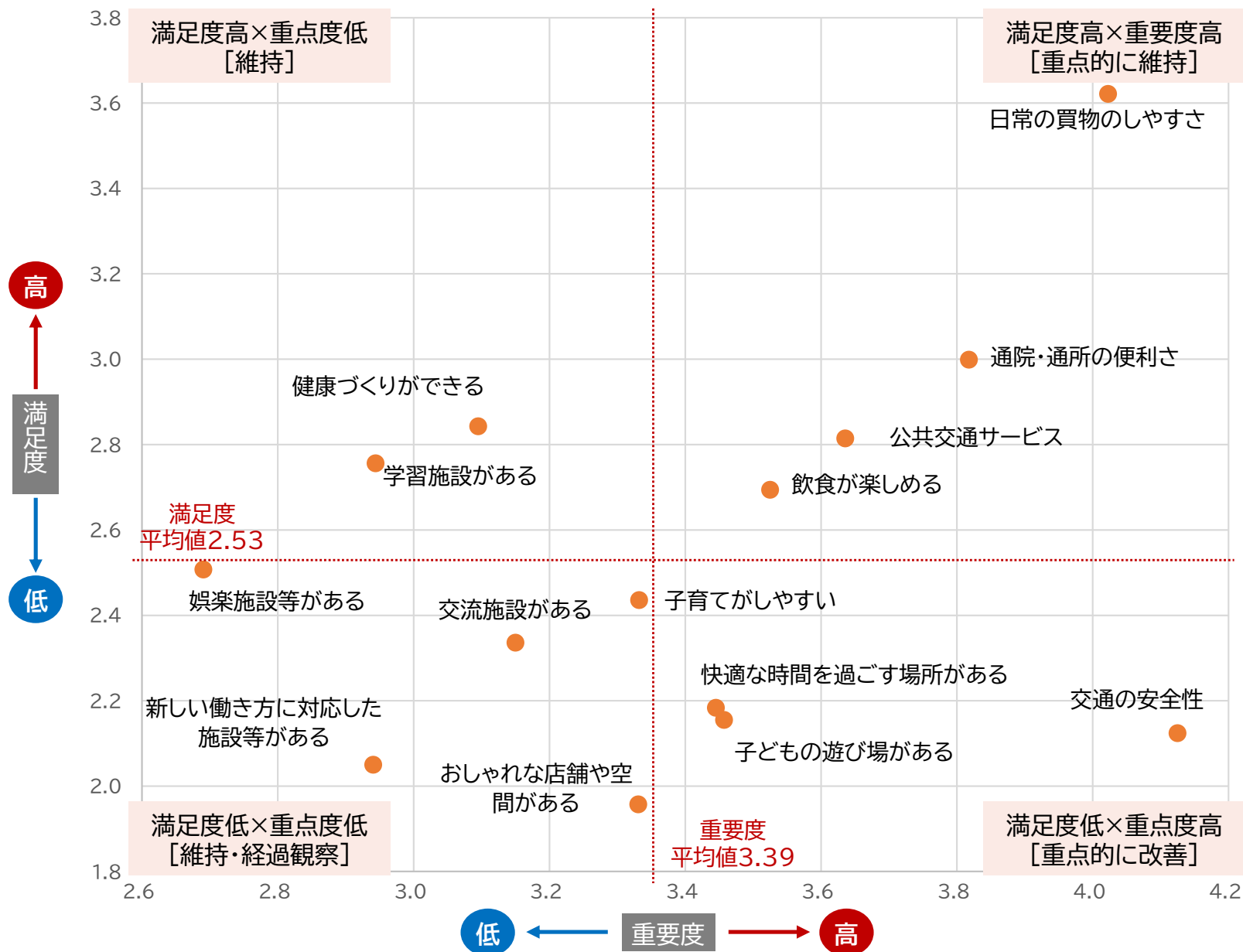
「あまり重要でない」、「重要でない」の合計が高いものは □ のとおりである。



市民アンケート結果

6. 鶴ヶ島駅周辺地区の現状に対する評価

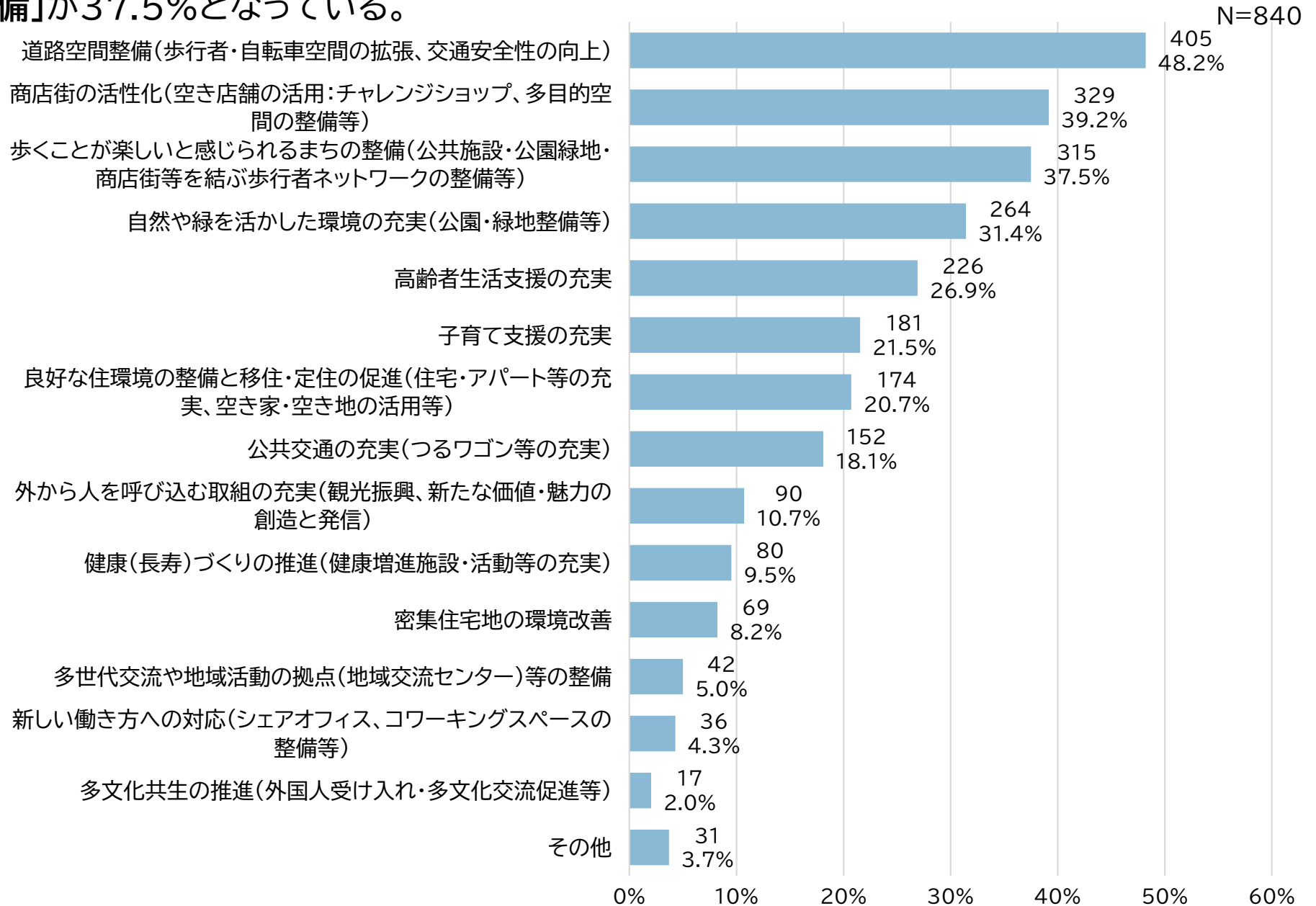
満足度・重要度の相関図



市民アンケート結果

7. 鶴ヶ島駅周辺地区の将来に向けた重要な取組

「道路空間整備」が48.2%と最も高く、次いで「商店の活性化」が39.2%、「歩くことが楽しいと感じられるまちの整備」が37.5%となっている。



市民アンケート結果

7. 鶴ヶ島駅周辺地区の将来に向けた重要な取組

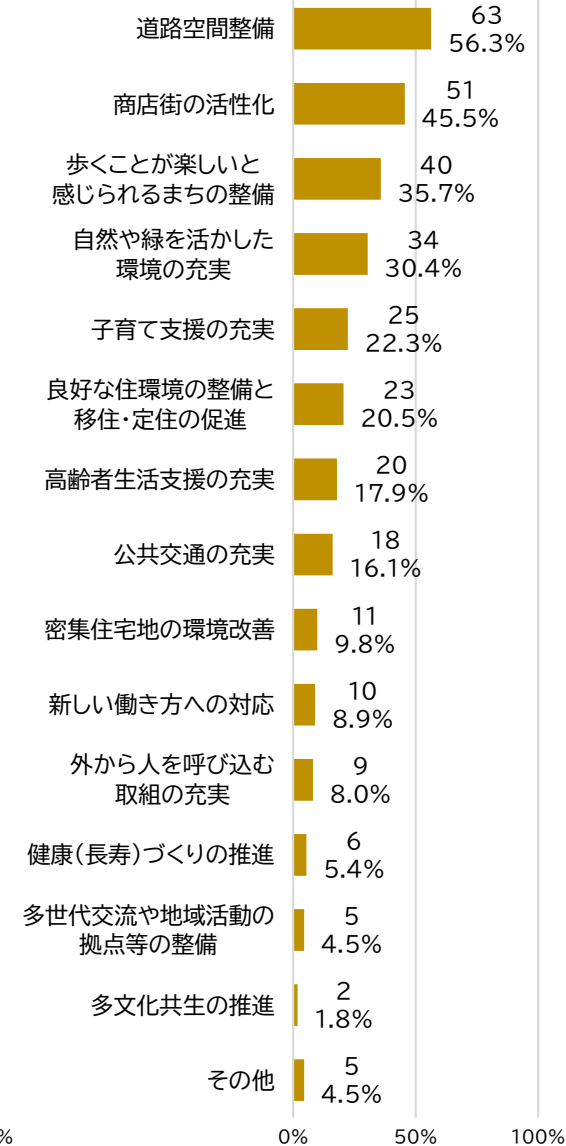
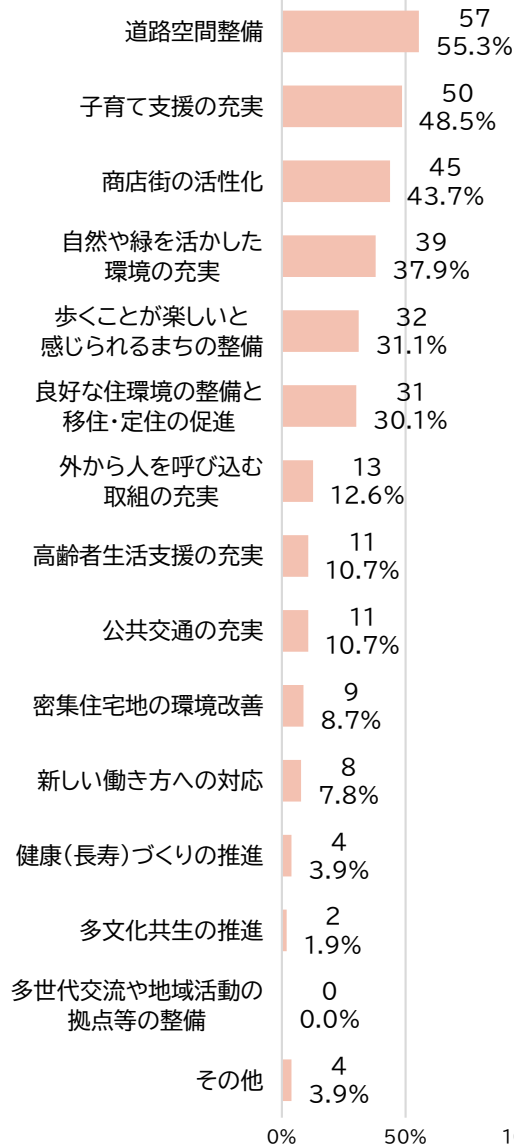
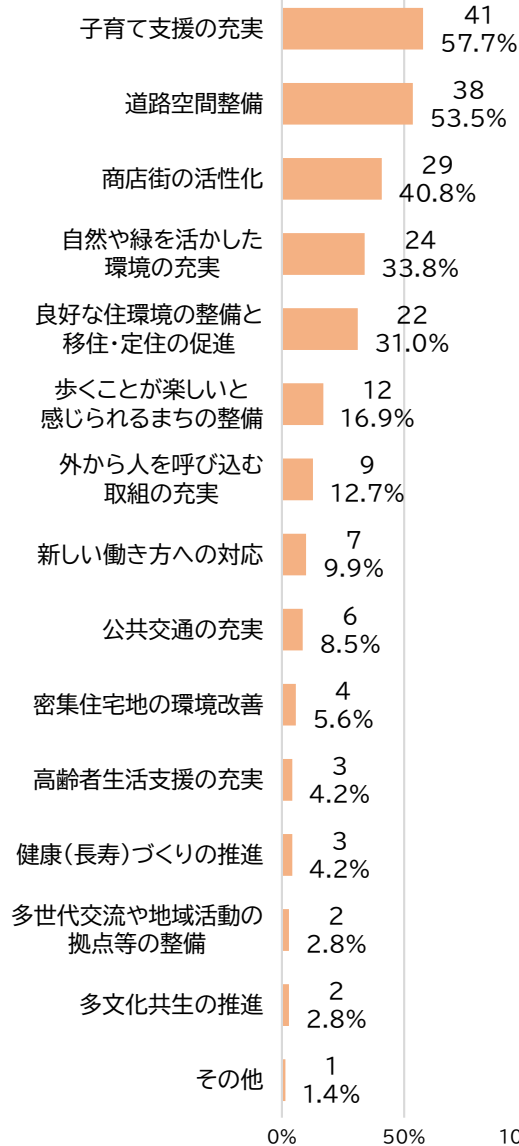
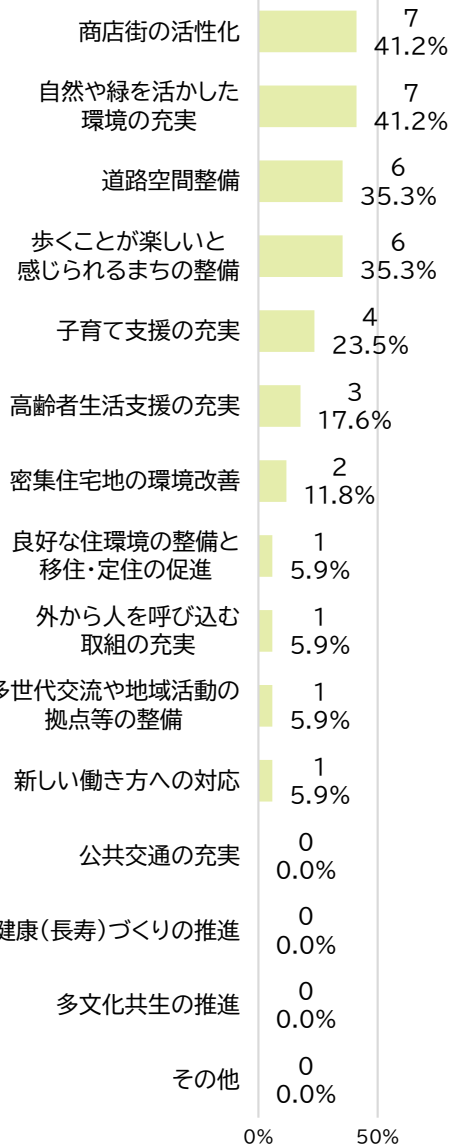
年代別クロス集計

20歳未満

20～29歳

30～39歳

40～49歳

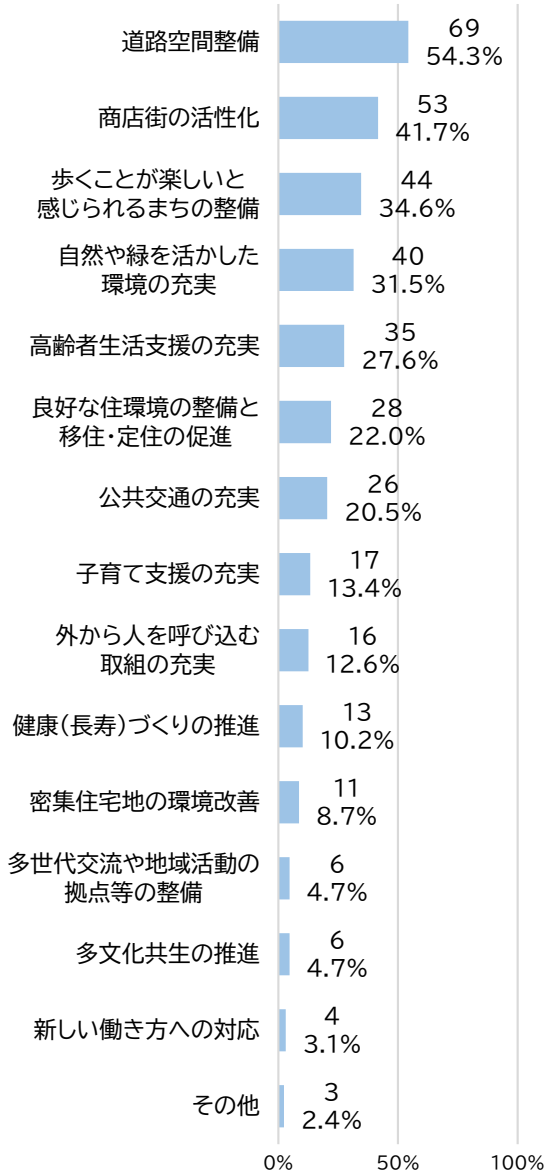


市民アンケート結果

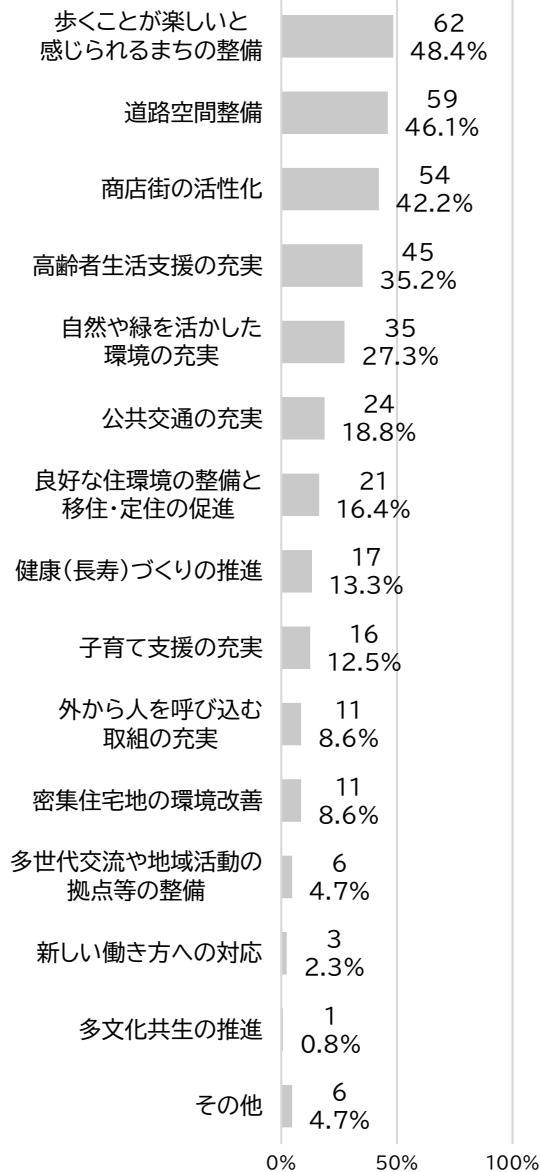
7. 鶴ヶ島駅周辺地区の将来に向けた重要な取組

年代別クロス集計

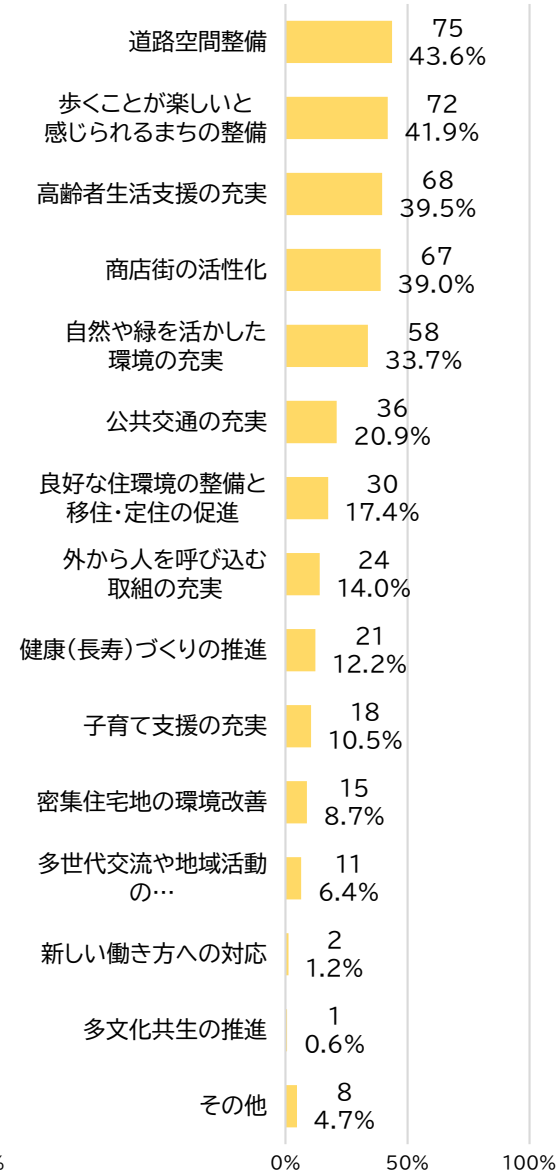
50～59歳



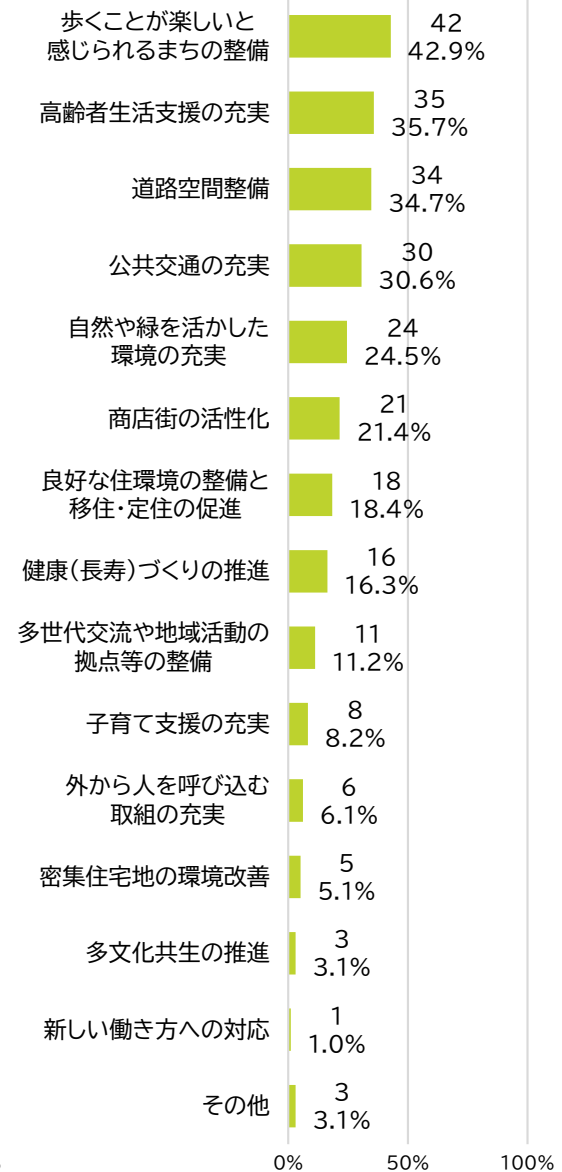
60～69歳



70～79歳



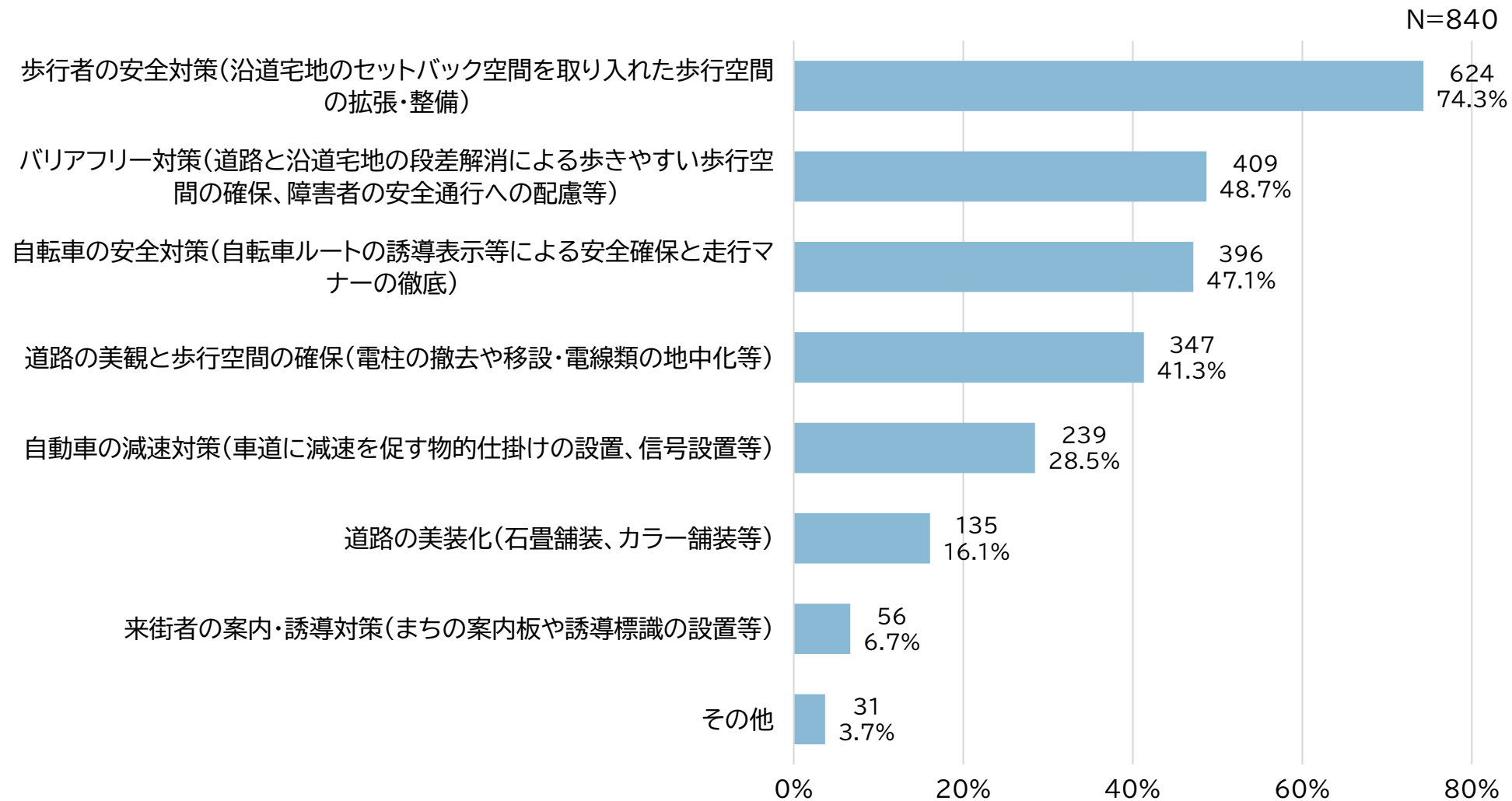
80歳以上



市民アンケート結果

8.道路（鶴ヶ島駅通り、共栄鶴ヶ丘線など）空間の整備について重要と思われるもの

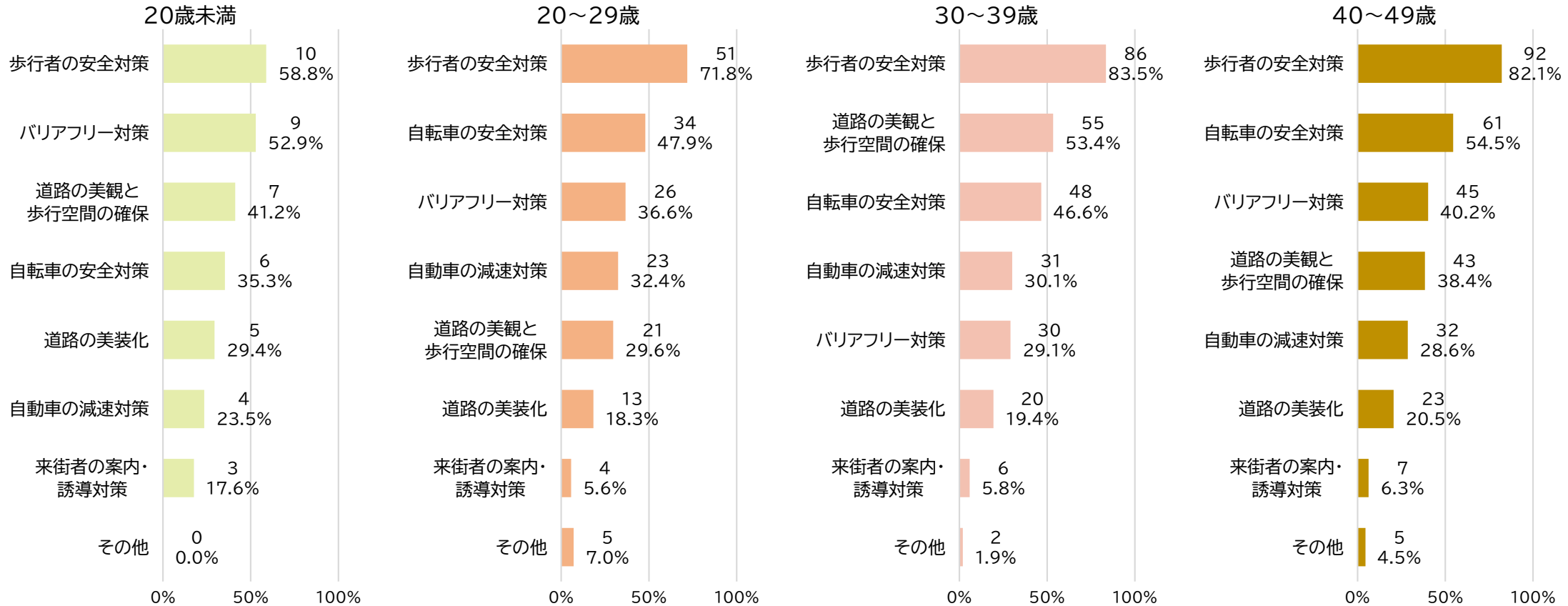
「歩行者の安全対策」が74.3%と最も高く、次いで「バリアフリー対策」が48.7%、「自転車の安全対策」が47.1%、「道路の美観と歩行空間の確保」が41.3%と高い割合となっている。



市民アンケート結果

8.道路（鶴ヶ島駅通り、共栄鶴ヶ丘線など）空間の整備について重要と思われるもの

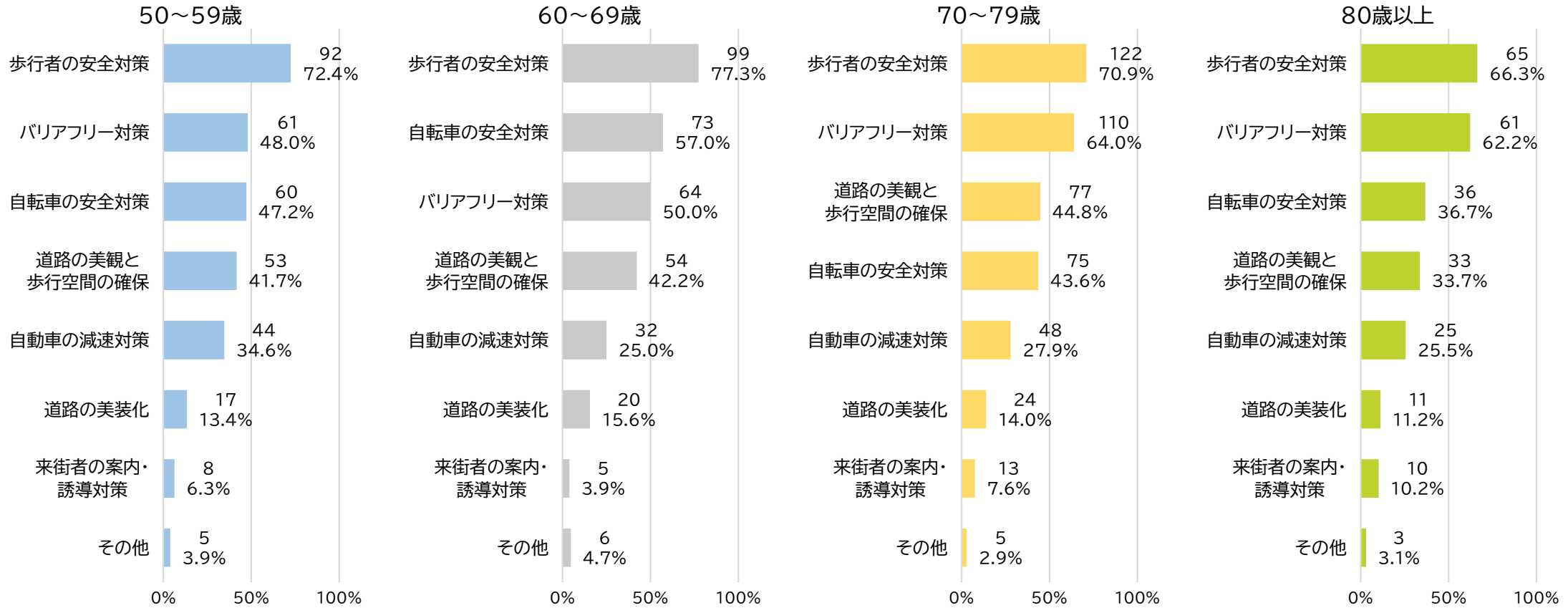
年代別クロス集計



市民アンケート結果

8.道路（鶴ヶ島駅通り、共栄鶴ヶ丘線など）空間の整備について重要と思われるもの

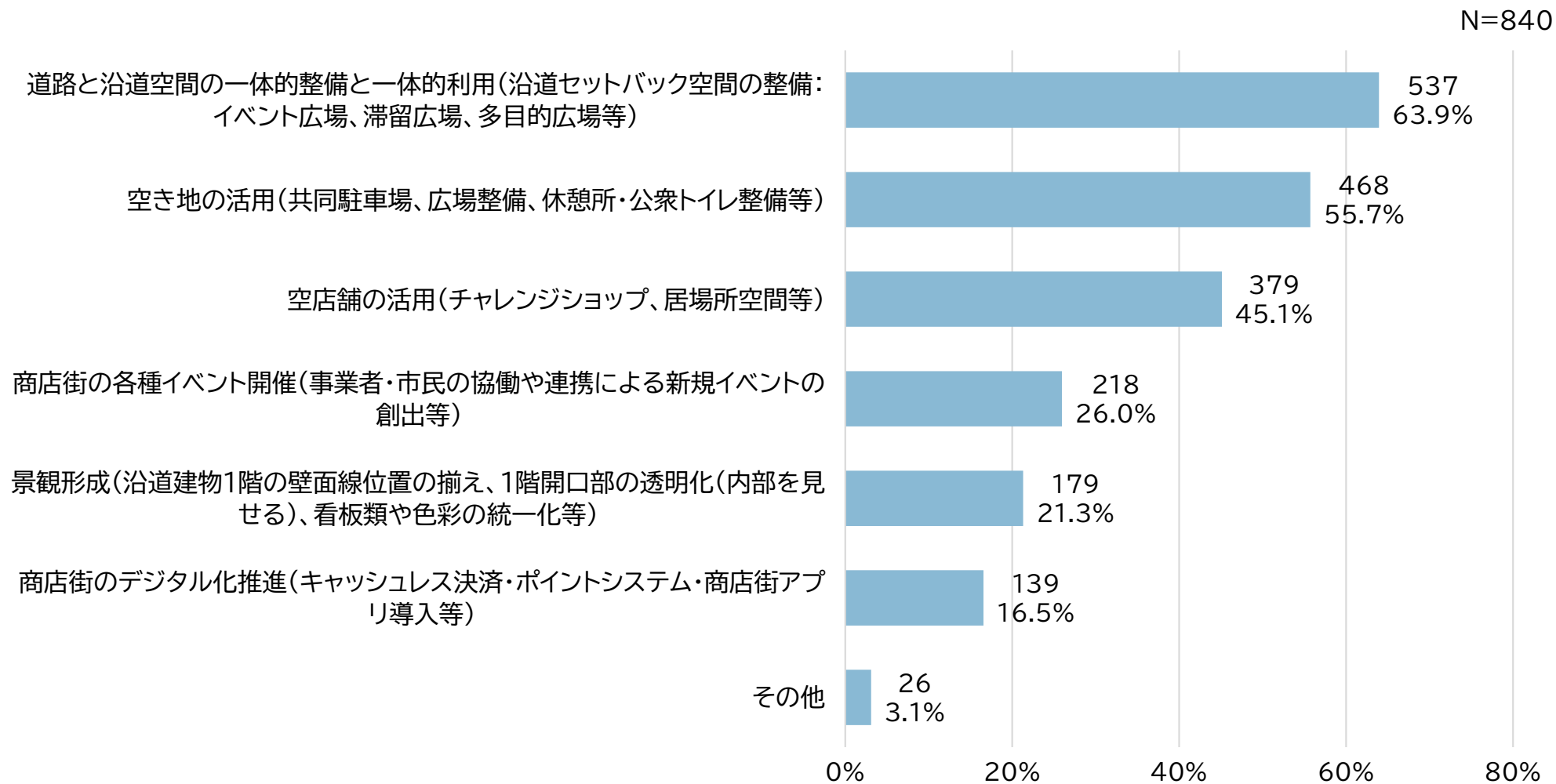
年代別クロス集計



市民アンケート結果

9. 鶴ヶ島駅前及び鶴ヶ島駅通り沿道地区（商店街）活性化について重要と思われるもの

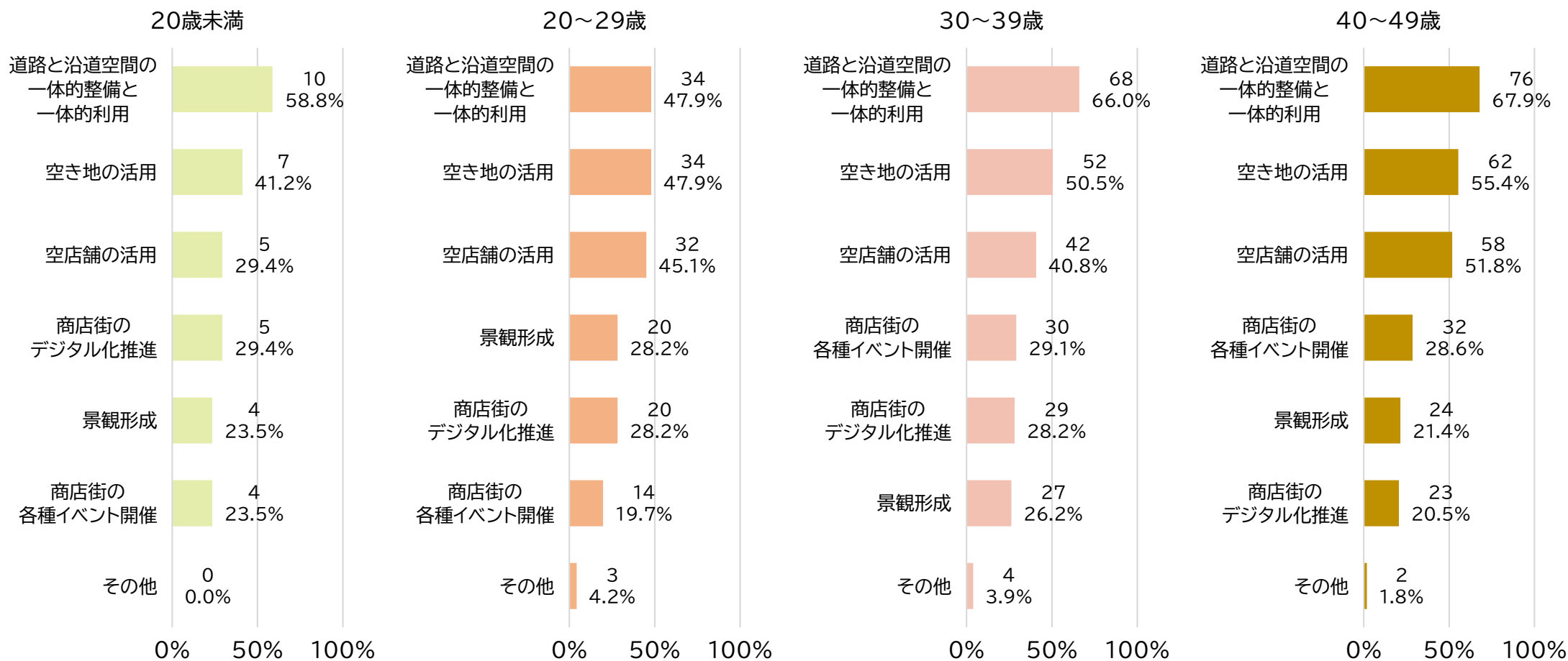
「道路と沿道空間の一体的整備と一体的利用」が63.9%と最も高く、次いで「空き地の活用」が55.7%、「空店舗の活用」が45.1%となっている。



市民アンケート結果

9. 鶴ヶ島駅前及び鶴ヶ島駅通り沿道地区（商店街）活性化について重要と思われるもの

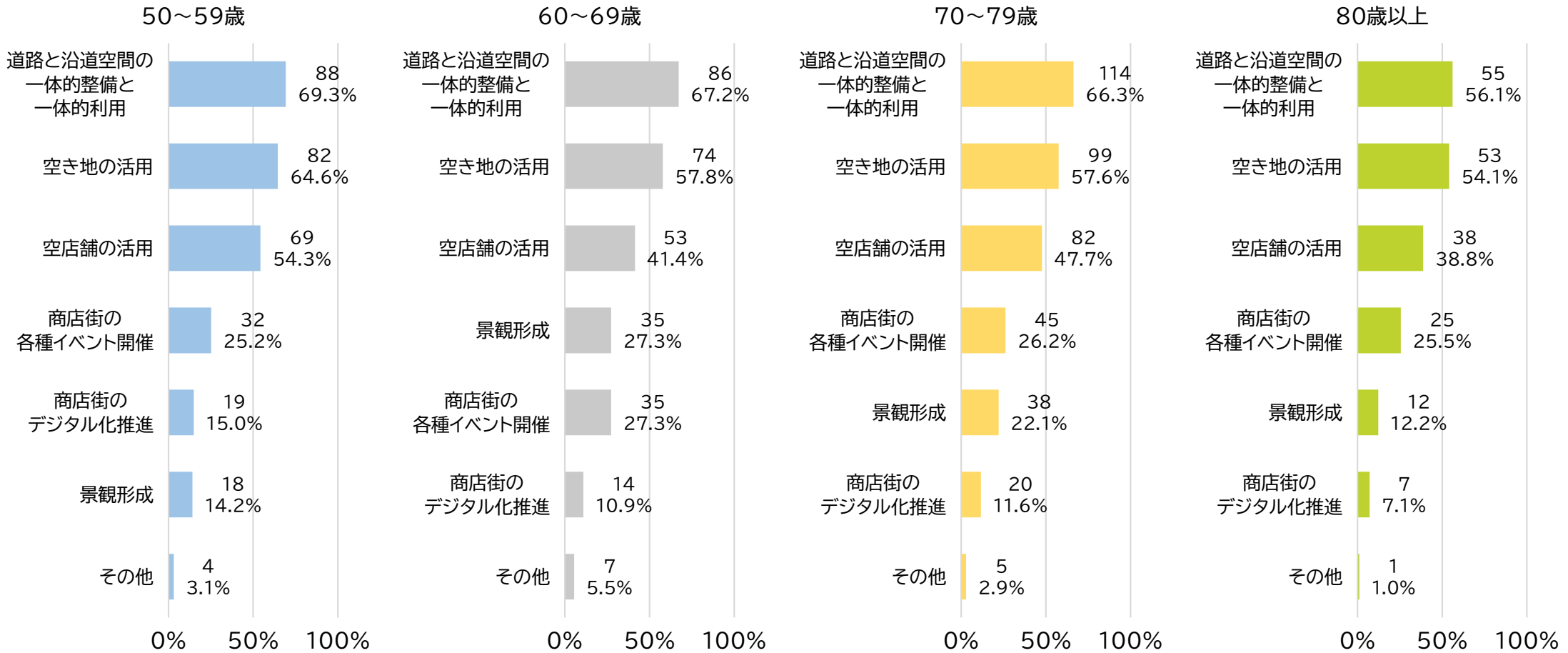
年代別クロス集計



市民アンケート結果

9. 鶴ヶ島駅前及び鶴ヶ島駅通り沿道地区（商店街）活性化について重要と思われるもの

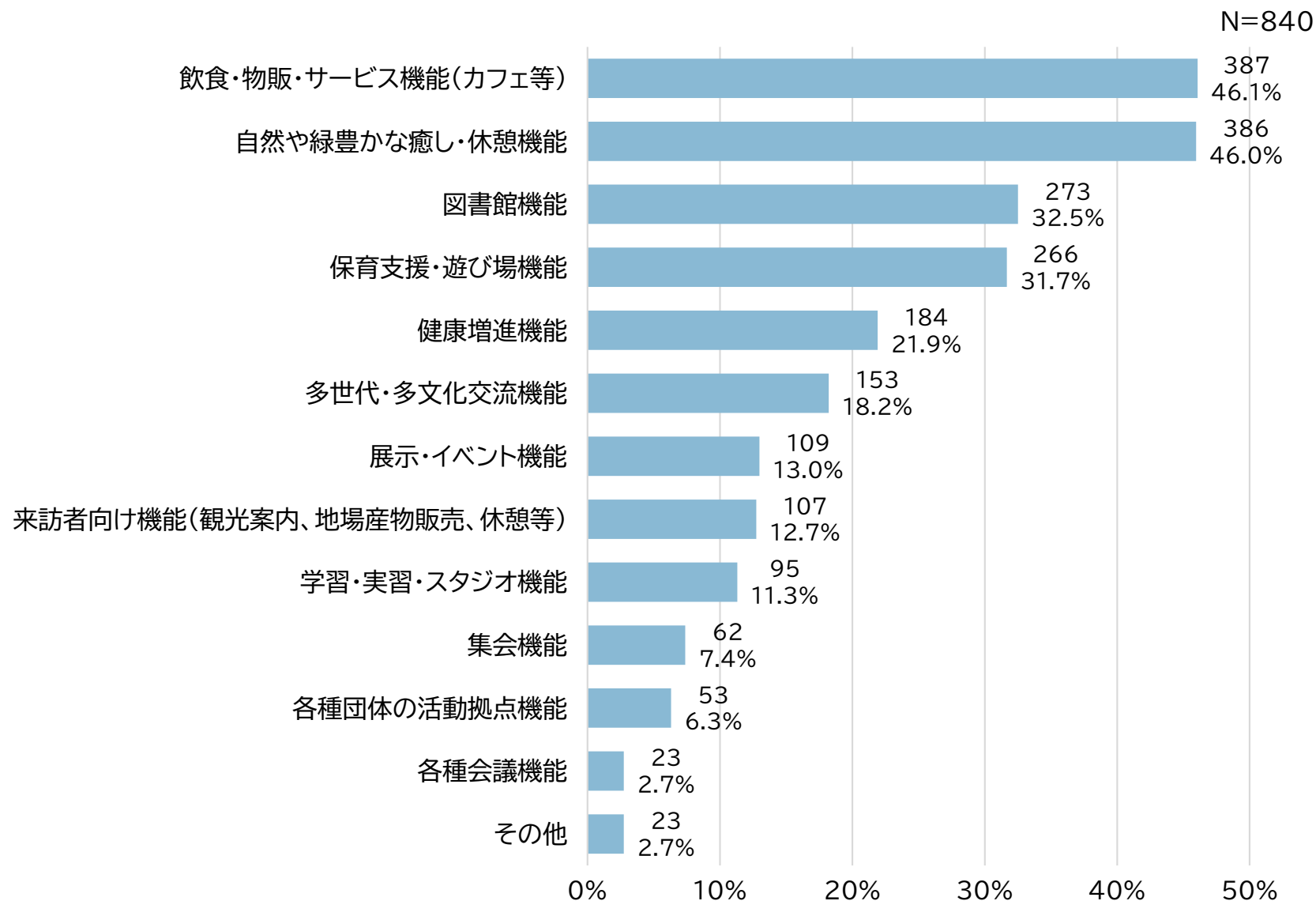
年代別クロス集計



市民アンケート結果

10.新しい公共施設（地域交流センター等）整備について重要と思われるもの

「飲食・物販・サービス機能」が46.1%、「自然や緑豊かな癒し・休憩機能」が46.0%と高い。次いで「図書館機能」が32.5%、「保育支援・遊び場機能」が31.7%となっている。

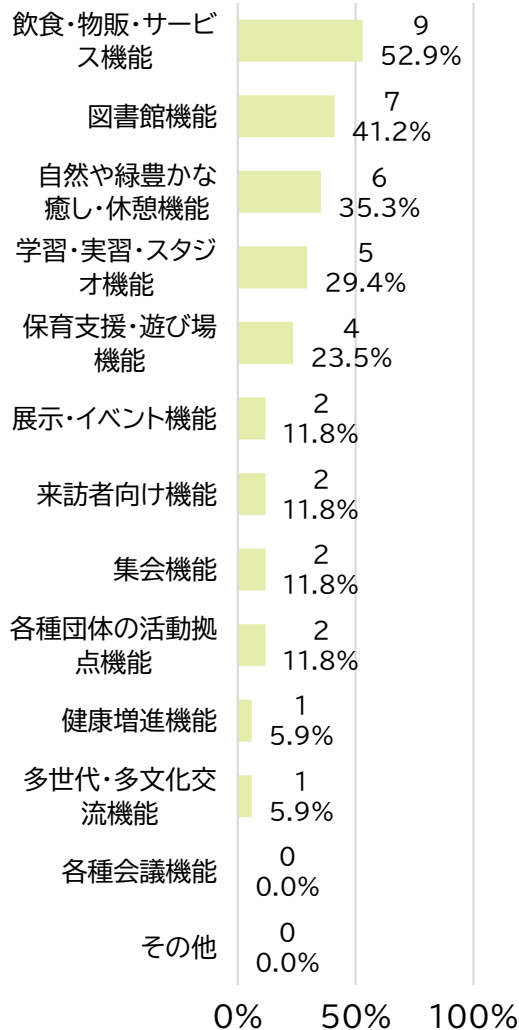


市民アンケート結果

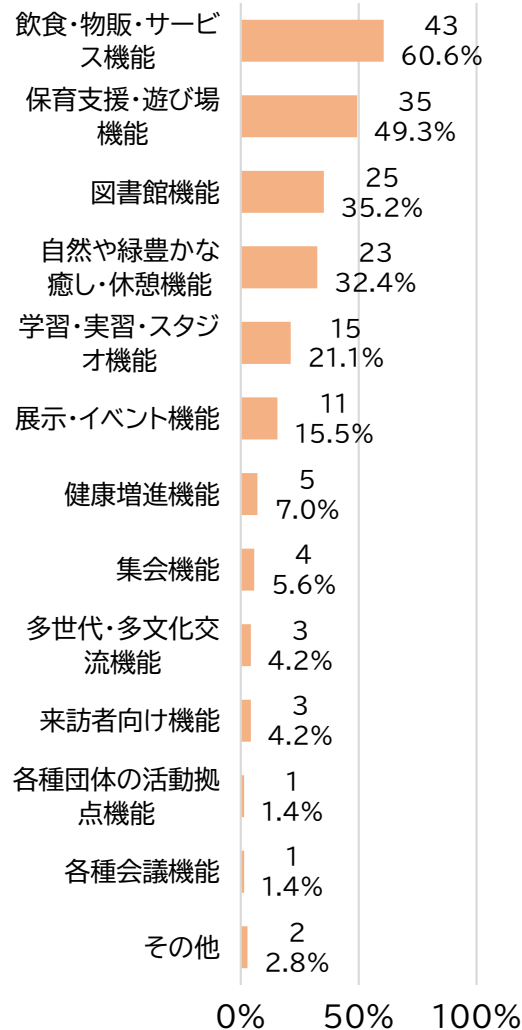
10.新しい公共施設（地域交流センター等）整備について重要と思われるもの

年代別クロス集計

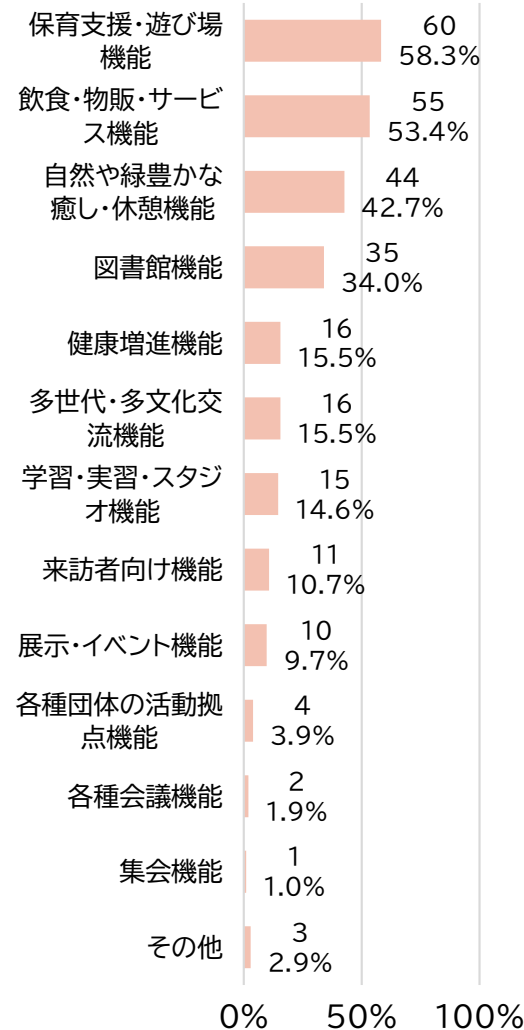
20歳未満



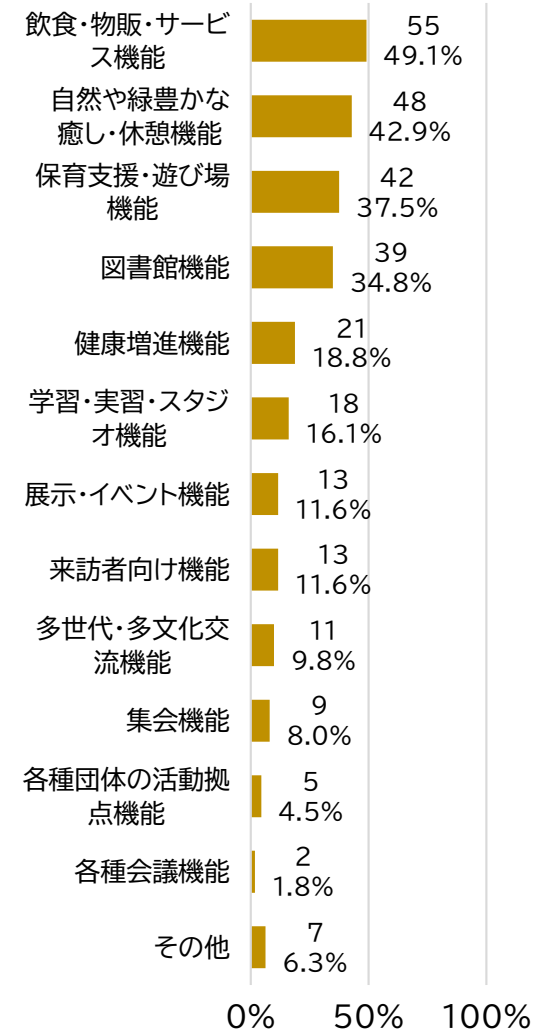
20～29歳



30～39歳



40～49歳

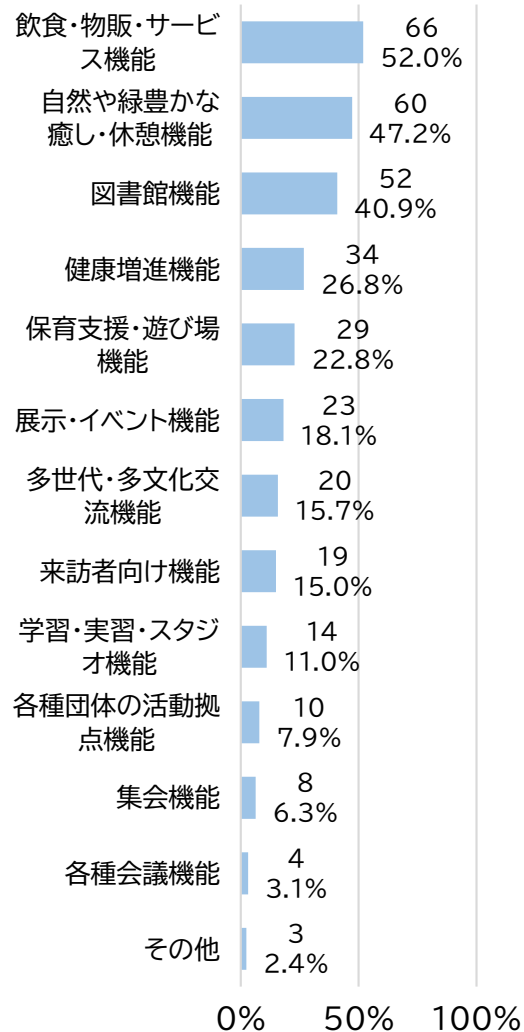


市民アンケート結果

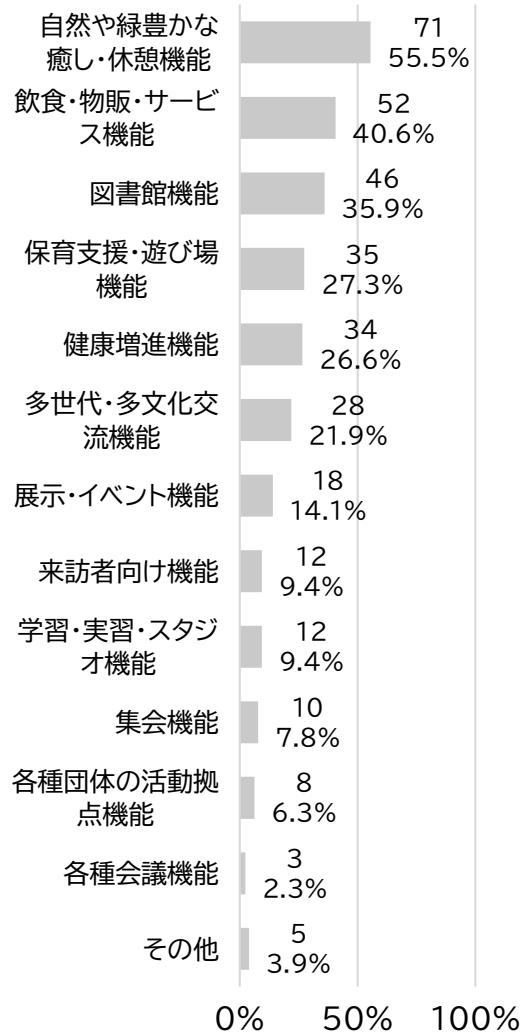
10.新しい公共施設（地域交流センター等）整備について重要と思われるもの

年代別クロス集計

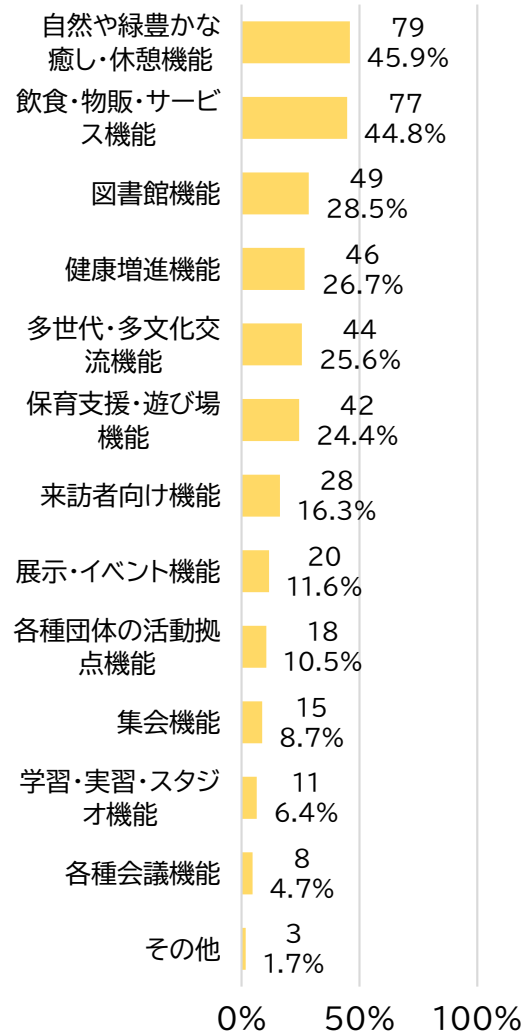
50～59歳



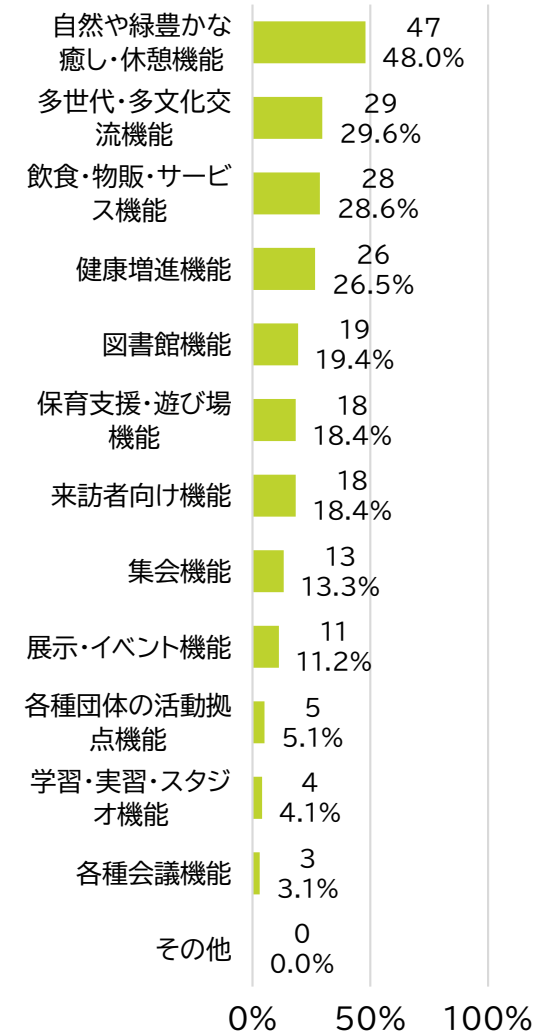
60～69歳



70～79歳



80歳以上



団体ヒアリング結果

1.調査概要

①調査期間

- ・ 令和4年8月～10月

②主な実施団体

- ・ NPO法人鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会
- ・ 鶴ヶ島第二小学校PTA
- ・ 鶴ヶ島文化会館
- ・ 鶴ヶ島市商工会
- ・ 鶴ヶ島市異業種交流会「スクラム21」
- ・ 鶴ヶ島駅西口商店会 など



鶴ヶ島文化会館



鶴ヶ島駅西口商店会

2. 主な意見

- 商店の事業継続(高齢化、後継者不足)や空き店舗の活用等が課題である。
- 商店会の加盟店は、本業以外をやる余裕がなくなってきているが、商店会としての基本的な活動である街路灯の維持管理の取組は続けている。また、何かを「やろう」と決めたらすぐに進められるフットワークの軽さが強みである。
- 駅通りの歩行者の安全確保が課題である。車が速度を出しにくい仕掛けが欲しい。
- 子育て世代は、子どもの安全が何より大切である(交通安全、防犯の両面から)。
- 高齢者が増えている。外出しやすい環境づくりや、利用しやすい施設が欲しい。
- 文化会館は、自治会の集会所機能と備蓄場所として欠かせない。南市民センターと複合化しても、自治会が優先して使用できるようにして欲しい。
- 駐車場が足りない(地域交流センター及びガーデンパークの両方とも)。
- その他提案として、「駅通り・商店会の名前を変える」「関水～第二小～どんぐり公園の散歩コース整備」「学校行事(持久走など)でガーデンパークを活用」「養命酒との連携」「Nゲージにちなんだソフト事業」など。